

UNDP セミナーのお知らせ

アフリカと気候変動: ジェンダーの視点から

人間開発報告書2007/2008『気候変動との戦い-分断された世界で試される人類の団結』は、「気候変動によって最も打撃を受けるのは最貧困層である」と結論付けています。干ばつ、洪水、砂漠化は、各国の開発への取組みとその成果に悪影響を及ぼすだけでなく、貧しい人々の生活そのものを脅かしています。気候変動は、人間開発への脅威であり、とミレニアム開発目標の達成状況を阻む要因だといえます。

女性は、家庭やコミュニティでのケア・ギバー（水汲み、炊事、洗濯、育児、病人や老人の介護など）として、また、農業従事者として、周辺の自然資源に頼るところがおおく、気候変動の悪影響に対して最も脆弱な立場にあります。同時に、女性は気候変動がもたらす人間開発への負の影響を最小限に食い止め、環境の変化に適応するにあたり、とても重要な役割を担うことができます。したがって、気候変動に関する取組み、特に適応支援には「ジェンダーの視点」を導入し、女性のニーズに対応していくことが不可欠となります。

UNDP東京事務所は、UNDP本部人間開発報告書室のAmie Gaye氏を迎え、アフリカの気候変動とその対応策を「ジェンダーの視点」から検証するミニ・セミナーを下記とおり開催いたします。

- 報告者: Amie Gaye氏 UNDP人間開発報告書室。2007/2008共著者。
- 開催日時: 2008年2月22日 10:30~12:00
- 会場: UNハウス5階 コミティー・ルーム2・3
- 使用言語: 英語（通訳無し）
- お申し込み方法: お名前、ご所属先、ご連絡先（電話・Eメールアドレス）を明記の上、**2月19日（火）**までに asako.osaki@undp.org までご連絡ください。